



住まいのニュース

Vol. 111

生活に丁度良い天井高さ

床面から天井までの高さを「天井高」といい、建築基準法では居室の天井高を2,100mm以上確保することが定められています。

住宅の天井高は2,300~2,500mmであることが一般的です。

天井は高い方が開放的に感じられて良いというイメージがありますが、必ずしも高ければ良いというわけではありません。

天井高は、建物の高さに直結し外観の印象に大きく関わってきます。背の低い建物は圧迫感が抑えられ、落ちつきや安定感を感じられます。

室内においても、座る、寝ることが基本姿勢となる書斎や寝室、和室、トイレ等では天井が高いとそわそわして落ち着かなかったり、物干しやクローゼットのパイプ位置が高いと手が届かなかったり、天井が低い方がむしろ良い場面は以外と多くあります。快適性や使いやすさ、コスパの良さなどの観点から、天井高を低くした場合のメリットとその際の注意点をご紹介します。

メリット

- ① 建物全体の高さを抑えられ、外観の圧迫感が小さくなる
- ② 吹き抜けや勾配天井を設けたときのコントラストが大きくなり開放感が高まる
- ③ 窓や室内建具の高さを天井に合せるコストが下がり、建具高さと天井が揃うことで天井が高い場合よりも空間がむしろ広く感じられる
- ④ 階段の段数を少なく、または蹴上を低くすることができる
- ⑤ 空調効率が上がり、電気代を節約できる
- ⑥ 建材コストが削減できる …など

注意点

- ① 家具が大きいと空間を圧迫するため、ダイニングテーブルやソファなどの大きい家具は背の低いものを採用する
- ② 内装が賑やかだと圧迫感を感じやすいため、なるべくシンプルな内装にする
- ③ 小上がりやスキップフロアなど、床面を上げる空間の天井高に配慮する
- ④ 下げた天井の高さ分、収納量が少なくなることを理解する …など

建築コストを下げたい場合や、敷地条件により建物の高さに制限がかかる場合には天井高を調整することも1つの考え方です。

住み始めてから変更できる部分ではないため、実際の高さの感覚を体感した上で決めることが重要です。

建設中現場のご紹介



M様邸(丹波篠山市)



TRETTIOモデルハウス(丹波市)



S様邸(丹波篠山市)



S様邸(綾部市)



I様邸(福知山市)



I様邸(三田市)



K様邸(丹波篠山市)



U様邸(綾部市)



I様邸(丹波市)



K様邸(舞鶴市)



M様邸(丹波篠山市)



Y様邸(福知山市)



O様邸(丹波市)



O様邸(福知山市)

住宅事業部
STAFFコラム



今回の担当は、
設計
津田 翠
です。

北欧の暮らしと TRETTIO

北欧は美しい街並み、針葉樹林や湖、オーロラやフィヨルドなど、自然が美しく壮大で旅行先としても人気のエリアです。また、マリメッコやYチェアで有名なカールハンセン&サンなど、日本でも人気のデザインブランドが数多くあります。世界最大のインテリアショップ・イケアも北欧スウェーデン発です。

これだけ高いデザイン性と機能性を兼ね備えたインテリアブランドが多くあるのも”北欧”と呼ばれる地域が-30℃にもなる長く寒い冬を快適に家の中で過ごせるよう、長年の人々の知恵やアイデアで発展していったからです。

北欧住宅といえば、シンプルでモダンな外観、断熱性や気密性に優れた高い機能性、木の温もりが心地良い内観。

時間とともに少しづつ変化する木の風合いと、毎日違った入り方をする自然光を取り入れたスタイルが特徴的です。

北欧は森や湖など自然に囲まれた環境のため、木を中心とした家づくりが盛んなことと、日照時間が少ないことから、窓面積を大きく取り、工夫を重ねて進化をしてきました。

また、高い気密性で冬の暖かさは勿論のこと、夏も外気の熱風を取り込み難く、快適に過ごす事ができるのも北欧住宅の良いところです。

TRETTIOは北欧の暮らしを倣って設計された未来基準の家。

自然と共に生きる生活の原点に立ち返り、心地よさを求めて変化する、自分らしく暮らしのプロセスを楽しめる住宅です。

LDKの天井高を抑え、ダイニングに広い吹抜けと大きな窓を設置し、インテリアデザインは極力シンプルに余白を持って仕上げています。

10年、30年、50年後・・・いつまでも愛着を持って住み続けられる住空間となっています。



TRETTIO

丹波モデルハウス

2024.

1.20.OPEN



本社
篠山店



0120-406-217
0120-404-309

LINEからチャット感覚でお問合せ・カタログ請求

